

ご存知
ですか？

知っておきたい！

妊娠糖尿病(GDM)

妊娠・出産は女性にとって大きなライフイベントです。妊娠中は胎盤から出るホルモンの影響や、おなかの赤ちゃんの発育によって女性の身体は大きく変化します。妊娠糖尿病とは、妊娠をきっかけとして初めて糖代謝異常(血糖値が高くなる)が発見されたり、あらわれたりすることをいいます。

妊娠糖尿病の影響って、
どんなことがあるの？

赤ちゃん

- 巨大児
- 難産
- 出産直後の赤ちゃんの低血糖
- 将来の肥満の可能性

母親

- 将来の糖尿病発症率の上昇
- 妊娠高血圧症候群

母子ともに
影響があるんです!!

まずは、妊婦健康診査でしっかりcheck!
産後も定期的に検査を受けましょう!

どんな事に
気をつければ
いいの？

妊娠中の留意点

- お腹の赤ちゃんの成長には、お母さんからもらう栄養がとても大切です

妊娠糖尿病の診断を受けた後の食事については、医師・助産師・栄養士等に相談しながらすすめていきましょう。

● 医師の説明を守り、生活管理をしましょう

妊娠糖尿病と診断された方は、産科医師より「妊娠糖尿病手帳」が配布されます。

血糖値の結果は、妊娠糖尿病手帳で管理しましょう。また、食事や生活指導を受け、医師と相談しながら妊娠糖尿病手帳を活用し自己管理しましょう。



出産後の留意点

出産したら
治るの？

- 産後1～3カ月以内に医療機関で検査を受けましょう

この時期は、妊娠の影響がとれた状態での糖代謝がわかります。血糖値が正常に戻ることが多いですが、中には糖代謝異常が残る方もいます。

- 産後は定期的に医療機関で検査を受けましょう

産後に血糖値が一時的に正常となっても、将来的に糖尿病になりやすいといわれています。

きちんと定期的に医療機関で検査を継続しましょう。

- 産科医師に妊娠糖尿病の既往がある場合は伝えましょう

妊娠中に、妊娠糖尿病と診断されたことのある方は、次回妊娠時の初診に、産科医師に必ずお伝えください。



浜松市
妊娠糖尿病情報

【発行】 浜松市健康増進課 浜松市中区鴨江二丁目11-2 電話 053-453-6117

【監修】 糖尿病のよりよい連携医療をめざす会

